

## <日本経済の基調判断>

景気は、緩やかに回復している。

企業収益は改善。  
設備投資は増加。

個人消費は緩やかに増加。

雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。

輸出、生産は持ち直し。

(先行き)

- ・先行きについては、企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる。
- ・一方、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。

## <政策の基本的態度>

政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」に基づき、構造改革を加速・拡大する。12月6日、「平成18年度予算編成の基本方針」を閣議決定した。

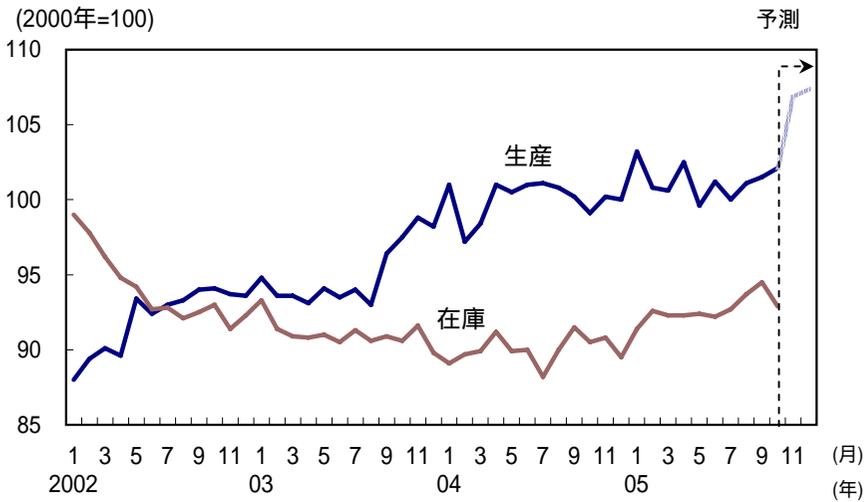
政府は、日本銀行と一体となって、重点強化期間におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力の更なる強化・拡充を図る。

# 今月の説明の主な内容

- 1 緩やかな景気回復が続く
- 2 好調が続く企業部門
- 3 株価、為替などの動向
- 4 地域経済の動向

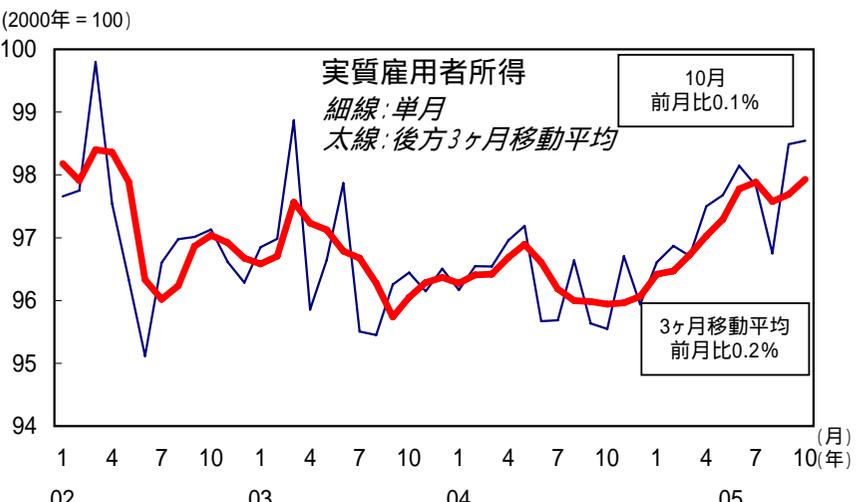
# 緩やかな景気回復が続く

## 生産は持ち直し



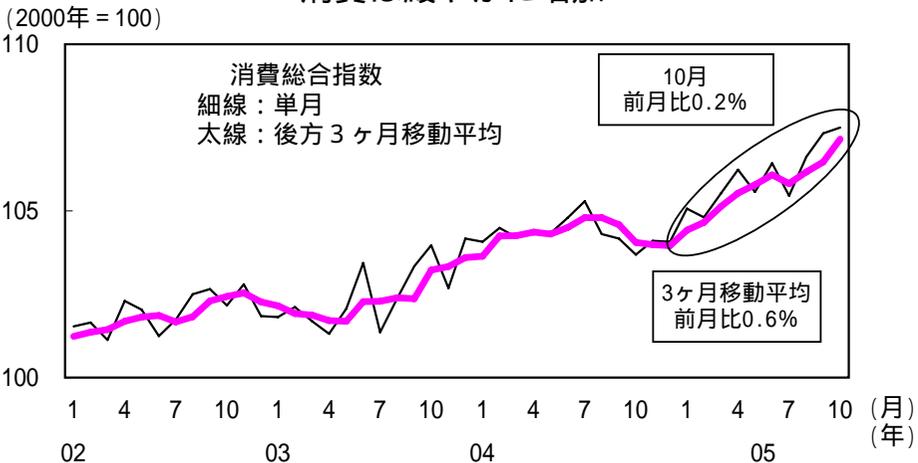
(備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。  
2. 11月、12月の予測値は「製造工業生産予測調査」より延伸。

## 所得の改善傾向が続く



(備考) 1. 実質雇用者所得 = 現金給与総額 × 非農林業雇用者数。  
2. 厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「労働力調査」より作成。

## 消費は緩やかに増加



(備考) 消費総合指数は、内閣府(経済財政分析担当)で作成。季節調整値。

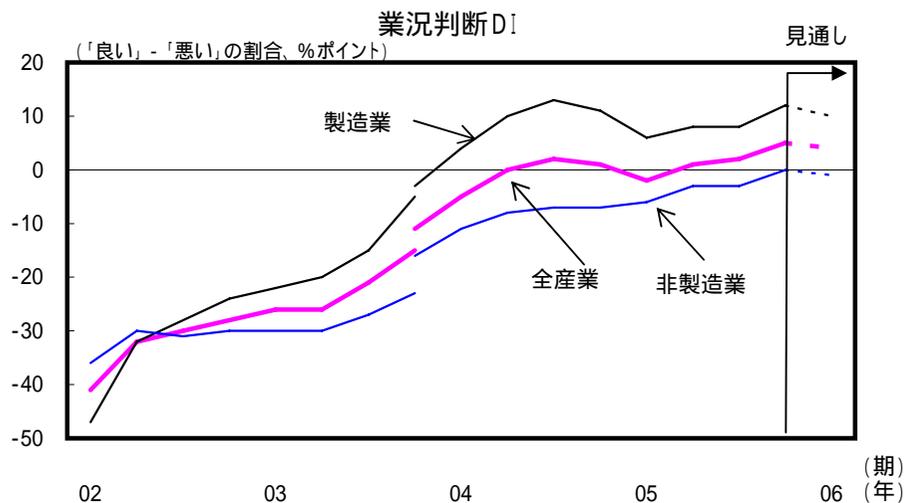
## 冬のボーナスの見通し

|         | 2005年冬季ボーナス見通し<br>(前年同期比) |
|---------|---------------------------|
| 日本経団連   | 4.4% [1990年(6.8%)以来の伸び]   |
| 日本経済新聞  | 3.5% [1991年(3.8%)以来の伸び]   |
| 労務行政研究所 | 5.2% [1990年(6.2%)以来の伸び]   |

(備考) 冬のボーナスについては、以下による。  
日本経団連調査は、調査対象である主要22業種・大手288社による最終集計値(12月14日時点)。  
日本経済新聞調査は、上場企業・店頭企業及び同社が選んだ有力な非上場企業838社による最終集計値(12月2日時点)。  
労務行政研究所調査は、東証1部上場企業279社による速報集計値(9月12日時点)。

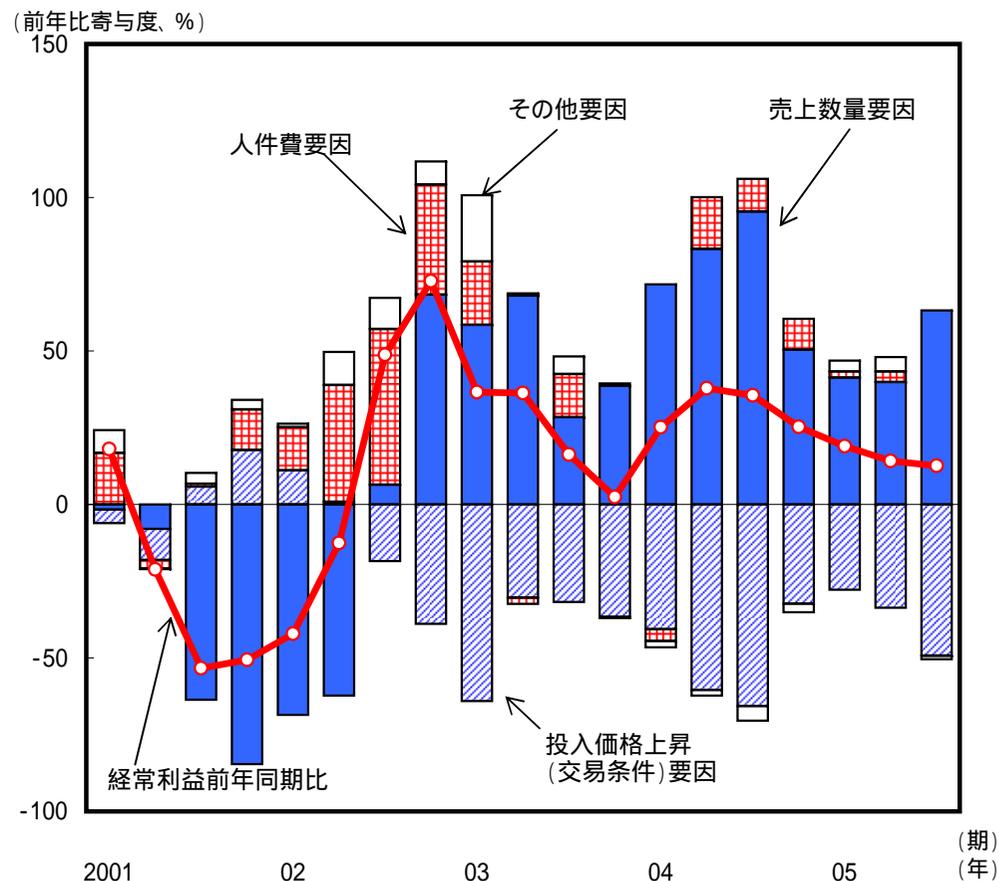
# 好調が続く企業部門

企業の景況感は緩やかな改善が続く



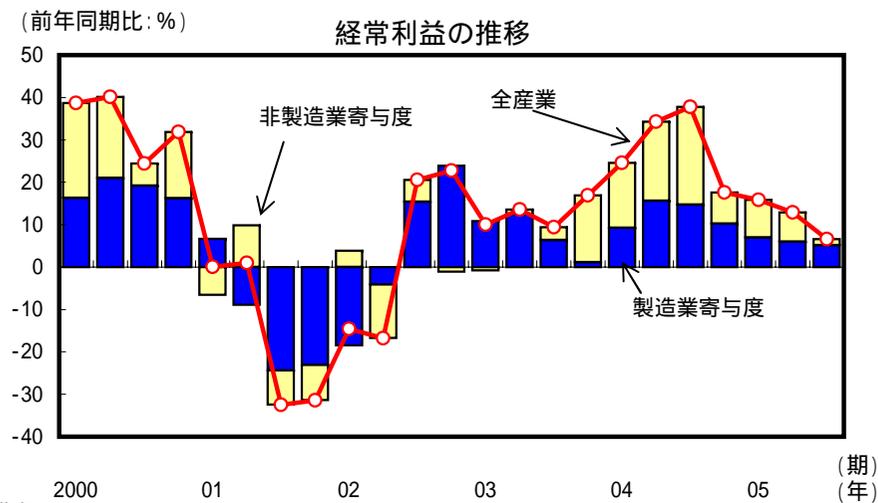
投入価格上昇による利益の圧迫も売上増により吸収

製造業の経常利益推移



企業収益の改善が続く

経常利益の推移

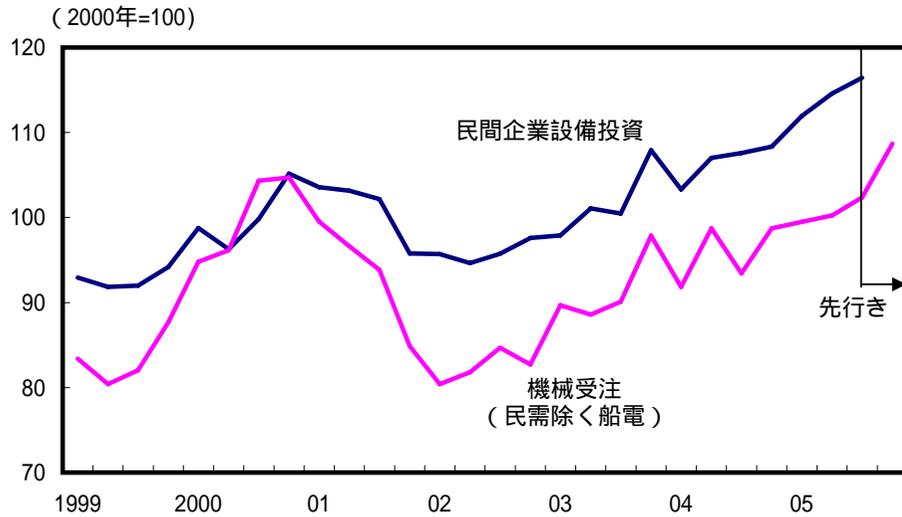


(備考)  
財務省「法人企業統計季報」、日本銀行「製造業部門別投入・産出物価」により作成。

(備考)  
財務省「法人企業統計季報」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。

# 好調が続く企業部門

## 設備投資は増加している

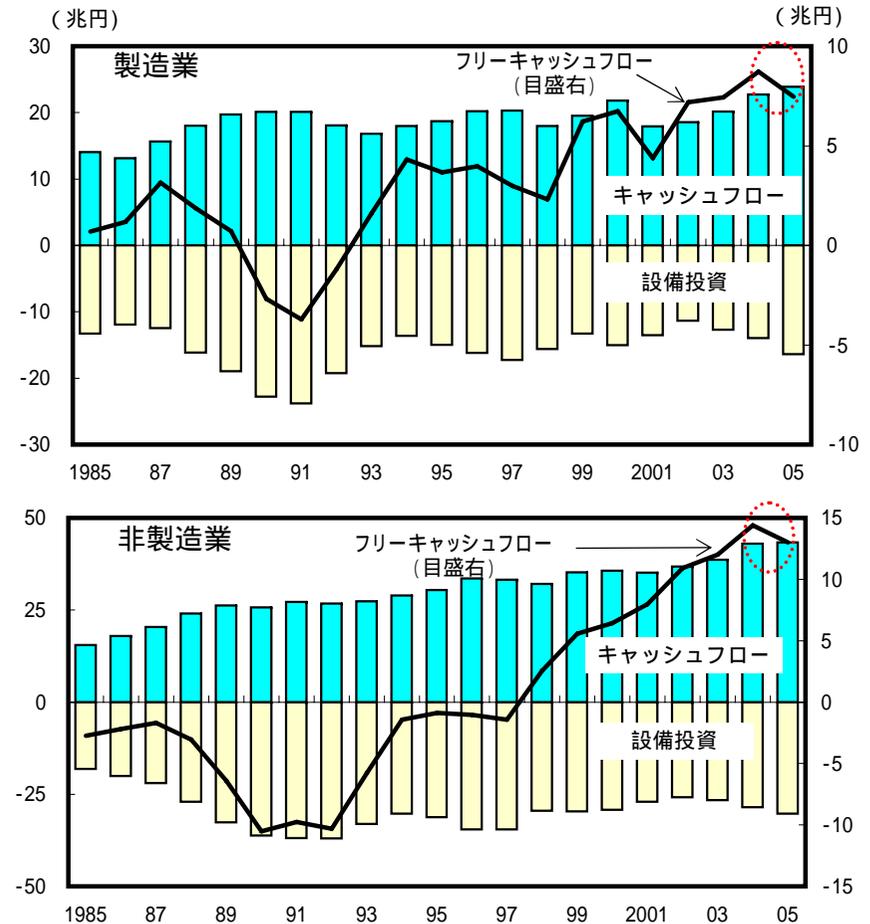


## 設備投資計画 (日銀短観)

| 調査対象企業 | 全規模    |        | 大企業    |        | 中小企業   |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        | 2004年度 | 2005年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2004年度 | 2005年度 |
| 全産業    | 5.5    | 9.1    | 4.5    | 10.4   | 10.7   | 3.6    |
| 製造業    | 17.7   | 15.4   | 18.1   | 17.3   | 24.2   | 5.2    |
| 非製造業   | 0.7    | 6.2    | 1.2    | 7.0    | 6.4    | 3.0    |

- (備考) 1. 内閣府「四半期別GDP速報」、「機械受注統計」、日本銀行「短観」により作成。  
 2. 季節調整値。2000年=100。  
 3. 機械受注(民需除く船電)の05年10-12月期見通しは05年9月調査。

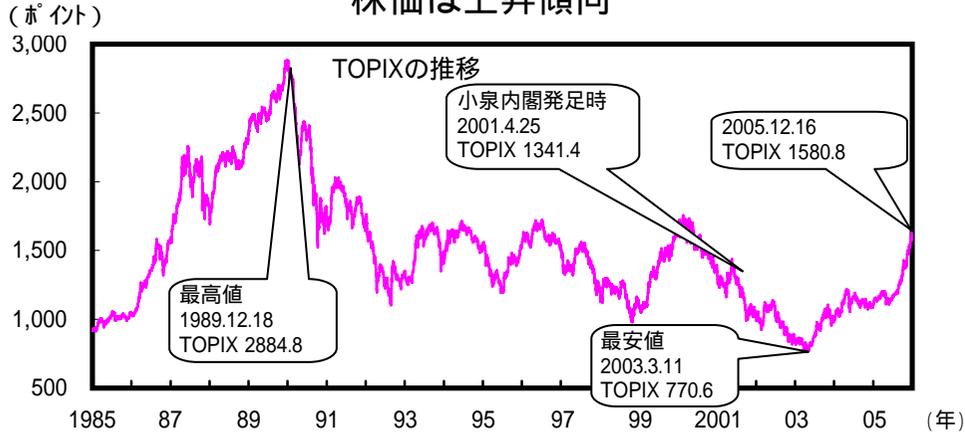
## 設備投資の積極化により、フリーキャッシュフローは減少の見込み



- (備考) 1. 財務省「法人企業統計季報」、日本銀行「短観」(2005年12月調査)により作成。  
 2. 設備投資はソフトウェア投資を含まず。  
 3. キャッシュフロー=経常利益×0.5+減価償却費。  
 フリーキャッシュフロー=キャッシュフロー-設備投資。  
 4. 05年7-9月期までは実績。05年度(05年10-12月期以降)は「日銀短観」に基づく見通し。

# 株価、為替などの動向

## 株価は上昇傾向

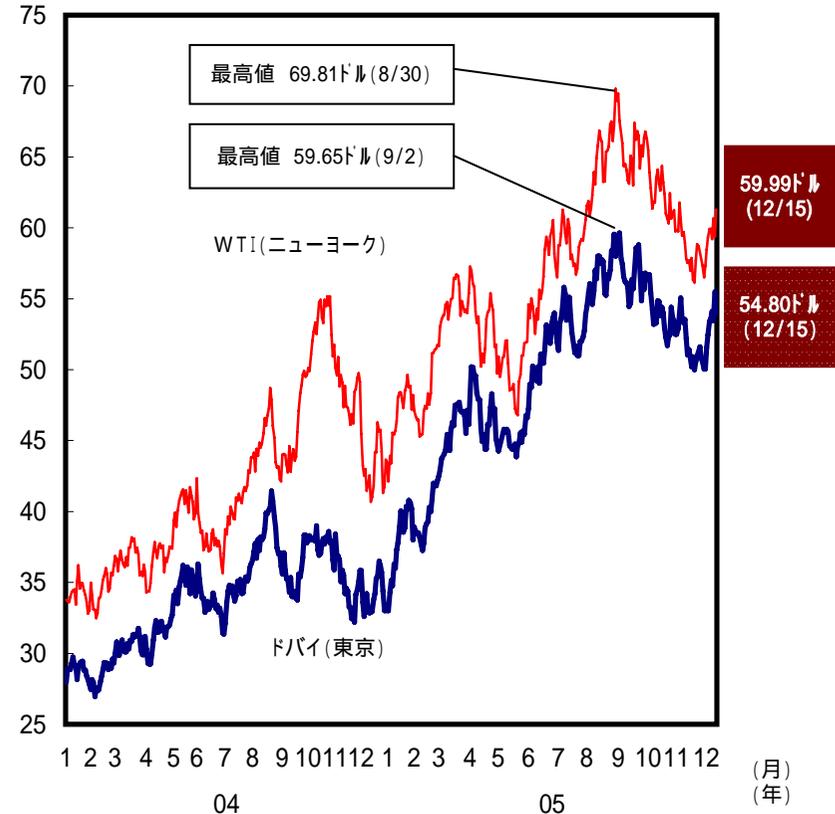


[参考] 日経平均

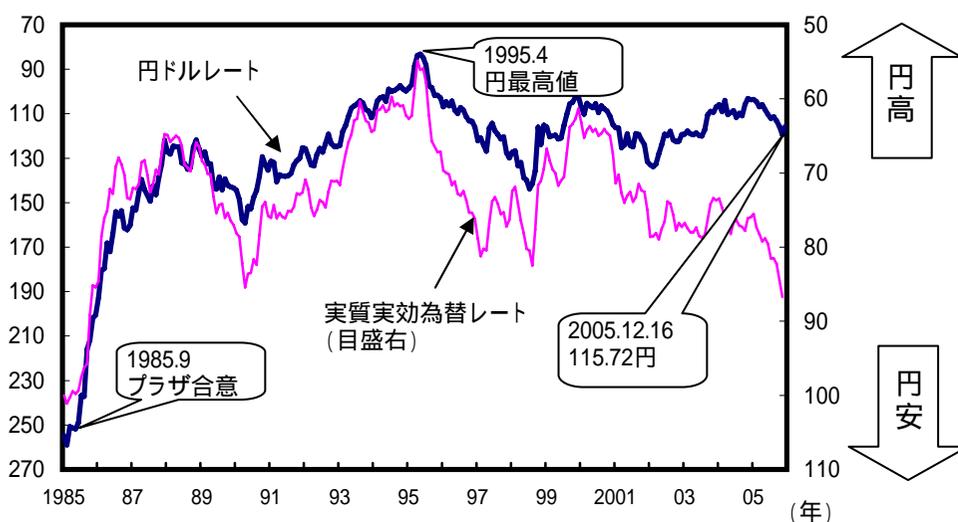
- ・最高値 : 38,915.87円 (1989年12月29日)
- ・最安値 : 7,607.88円 (2003年4月28日)
- ・小泉内閣発足時 : 13,827.50円 (2001年4月25日)
- ・足下 : 15,173.07円 (2005年12月16日)

原油価格は秋以降、下落傾向にあったが、足下では米国北東部への寒波襲来などで反発

(ドル/バレル)



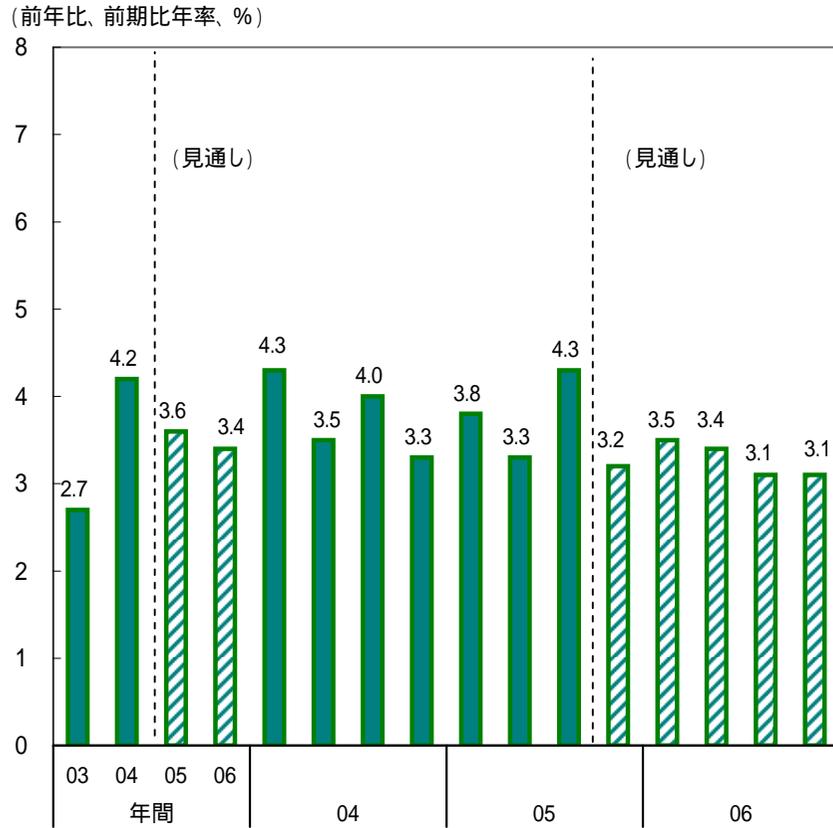
## 足下では円安傾向で推移 (1985年 = 100)



(備考) 1. 円ドルレートは、東京外為市場インターバンクのスポットレート。  
2. 実質実効為替レートは、日本銀行試算値(1985年 = 100)による。

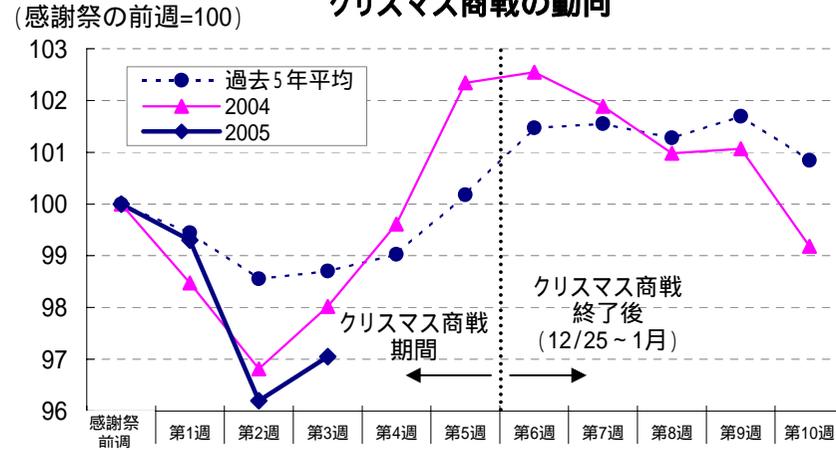
# アメリカ経済をめぐる状況

アメリカの民間エコノミストの平均的見方  
2005年10-12月期以降も3%程度の成長が続く



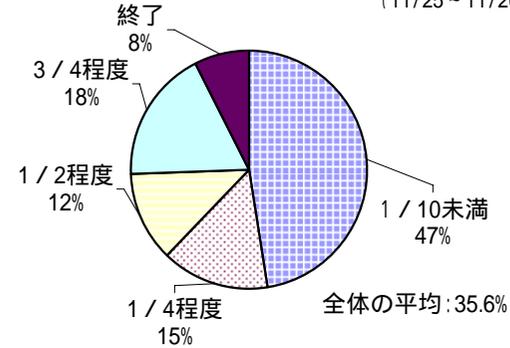
(出所) アメリカ商務省、  
ブルーチップ・インディケーター(12月10日号)

クリスマス商戦の動向



本格的な買い物は後半に

アンケート:「クリスマスギフトの購入はどの程度済ませたか」  
(11/25~11/26(第1週)、NRF実施)



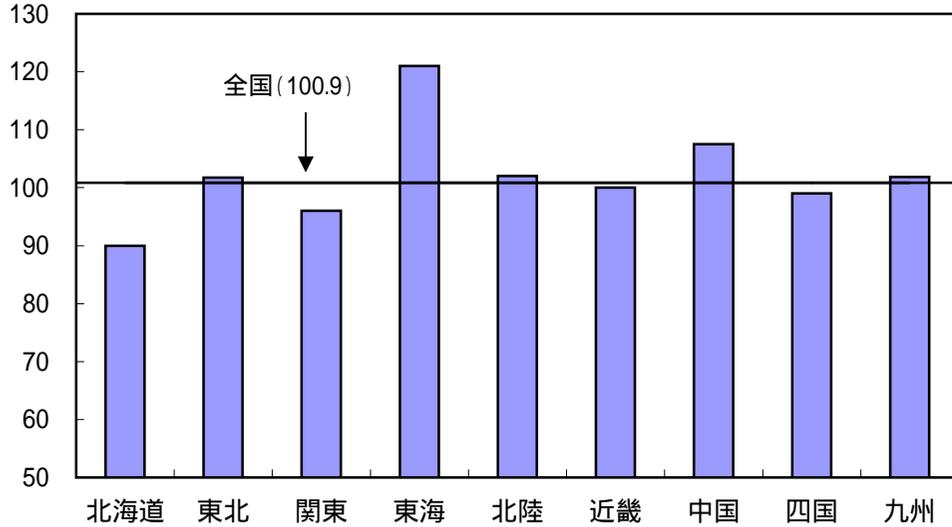
(出所) NRF (全国小売業協会)、ICSC (国際ショッピングセンター)

# 地域経済の動向

## 鉱工業生産の動き

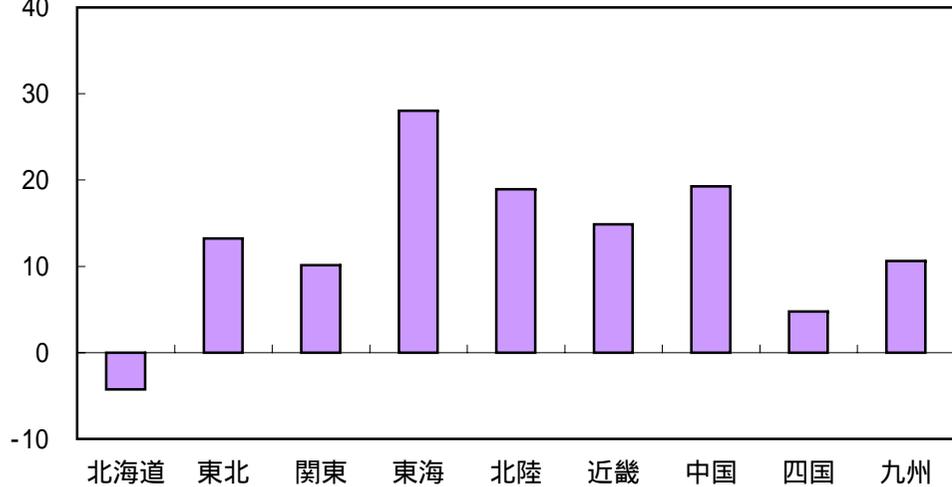
(1) 2005年7-9月期の生産

(季節調整値、2000年 = 100)



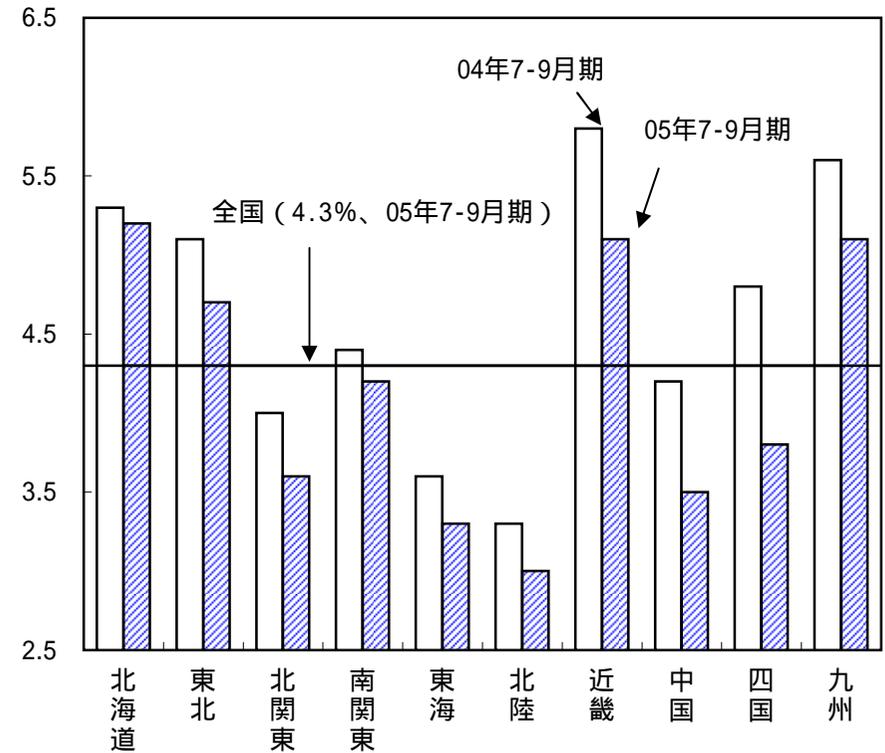
(2) 景気の谷(2002年1-3月期)からの伸び率

(%)



## すべての地域で低下した完全失業率

(原数値、%)



(備考) 上図：総務省「労働力調査」により作成。

九州に沖縄を含む。

左図：各経済産業局「鉱工業生産動向」により作成

九州に沖縄は含まない。

# 地域経済の動向

～ 地域に広がりを見せる緩やかな回復～

## 今年から来年にかけての地域の百貨店の動き - 体質強化のための再編 + 消費者に魅力的な店頭作り -

景気ウォッチャーコメント(11月調査、抜粋)

**( やや良くなっている )**  
 ・カシミアなど、高品質・高単価の商材が動くようになった。  
 単品買いからコーディネート買いの客も増加(中国=百貨店)  
 ・高単価のエアコンの動きが良い。好調な37インチ以上の  
 薄型テレビが単価を押し上げ(北陸=家電量販店)  
 ・400万以上の高級車に引き合い、実際に売れている(近畿=乗  
 用車販売店)  
 ・客の話では鉄鋼、IT関係のボーナスはバブル期に匹敵する  
 のこと、当店含め客の動きは活発化(東北=一般レストラン)  
 ・忘年会が復活した会社が出ている(南関東=都市型ホテル)

**( :変わらない )**  
 ・客数は前年比103%と伸びているが、単価は5%ダウン(北海  
 道=スーパー)  
 ・期待したほどウォームビズ効果がなく、ガソリンや灯油等の  
 支出に回っている(東北=百貨店)  
 ・物以外に対する客の欲求が継続。リラクゼーション、安らぎと  
 いったものにお金を使っている(北関東=アミューズメント)  
 ・職場の団体旅行、家族・グループ旅行の契約が多い。  
 特に、社員旅行が復活の気配(四国=旅行代理店)

**( :やや悪くなっている )**  
 ・最近発売の小型車やハイブリッド車は好調だが、既販車が  
 思うように伸びず、販売計画を下回る(北陸=乗用車販売店)  
 ・ボージョレーヌーボーは高額な物から良く売れたが、飲食店の  
 アルコール消費量がとても悪く、苦戦(四国=酒屋)

| 時期     | 企業   | 店舗・所在地          | 所在地           | 形態   | 投資額 |
|--------|------|-----------------|---------------|------|-----|
| 05年 3月 | 西武   | 八尾店             | 大阪府           | 全面改装 | 30  |
|        | 三越   | 名古屋栄店           | 愛知            | 新館増築 | 145 |
|        | さくら野 | 福島店             | 福島            | 閉店   | -   |
| 4月     | さくら野 | 仙台店             | 宮城            | 全面改装 | 20  |
|        | 山陽   | 本店              | 兵庫            | 改装   | 15  |
| 5月     | 三越   | 横浜、大阪、枚<br>方、倉敷 | 神奈川、大<br>阪、岡山 | 閉店   | -   |
|        | 伊勢甚  | 日立店             | 茨城県           | 閉店   | -   |
| 9月     | 大丸   | 心齋橋店            | 大阪            | 改装   | 23  |
|        | そごう  | 心齋橋店            | 大阪            | 建て替え | 250 |
| 10月    | 丸井今井 | 小樽、苫小牧          | 北海道           | 閉店   | -   |
| 12月    | 新岐阜  | -               | 岐阜            | 閉店   | -   |
| 06年 1月 | 中三   | 五所川原店           | 青森            | 閉店   | -   |
| 2月     | トキ八  | 臼杵店             | 大分            | 閉店   | -   |
| 3月     | 松坂屋  | 本店              | 愛知            | 改装   | 19  |
|        | 伊勢丹  | 浦和店             | 埼玉            | 全館改装 | 36  |
|        | 天満屋  | 三原店             | 広島            | 閉店   | -   |
| 5月     | 三越   | 吉祥寺店            | 東京            | 閉店   | -   |
| 秋      | そごう  | 千葉店             | 千葉            | 全館改装 | 15  |
|        | 山形屋  | 宮崎店             | 宮崎            | 新館増築 | 25  |
|        | 丸井   | 関西2号店           | 大阪            | 新規出店 | -   |
| 秋まで    | 名鉄   | 本店              | 愛知            | 全面改装 | 200 |

(備考)内閣府「景気ウォッチャー調査」、新聞、HP、ヒアリング等により作成。投資額は億円。